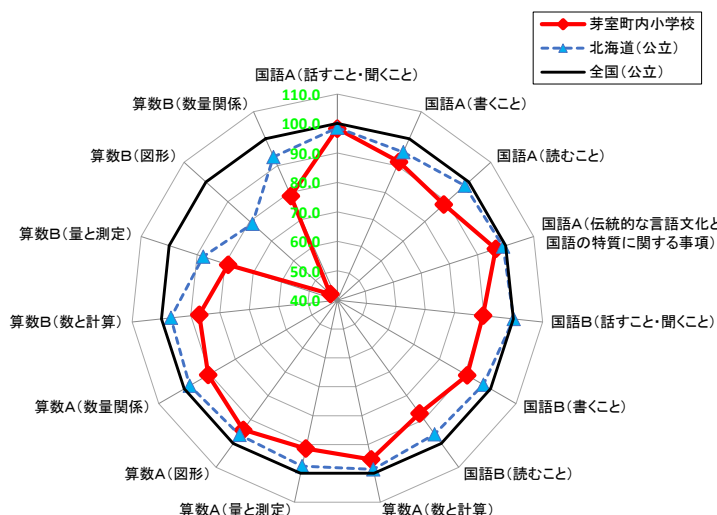


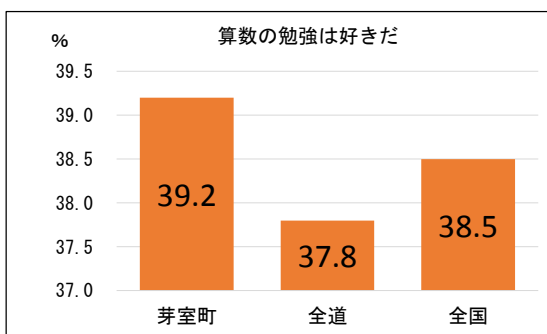
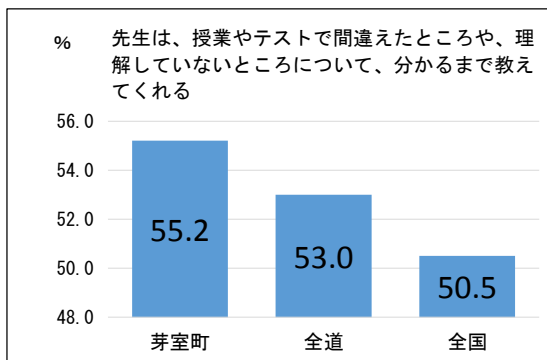
■芽室町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:194人)

【教科全体の状況】

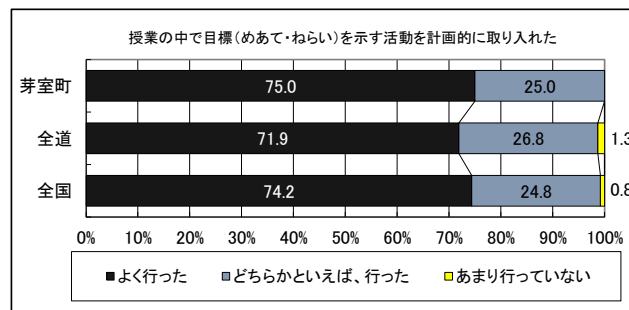
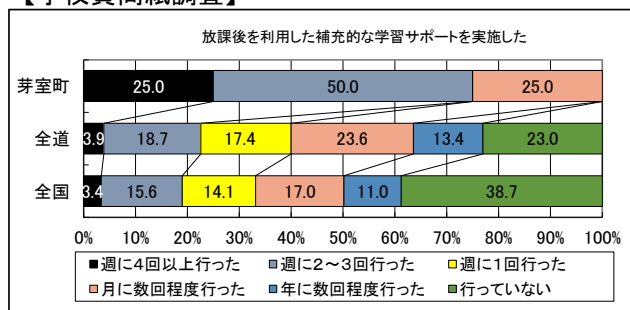
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
国語	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全道とほぼ同様になっている。 ○ 算数Aでは、「図形」で全道とほぼ同様になっている。
児童質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の勉強は好きだ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ 「放課後を利用した補充的な学習サポートを週に4回以上実施した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。

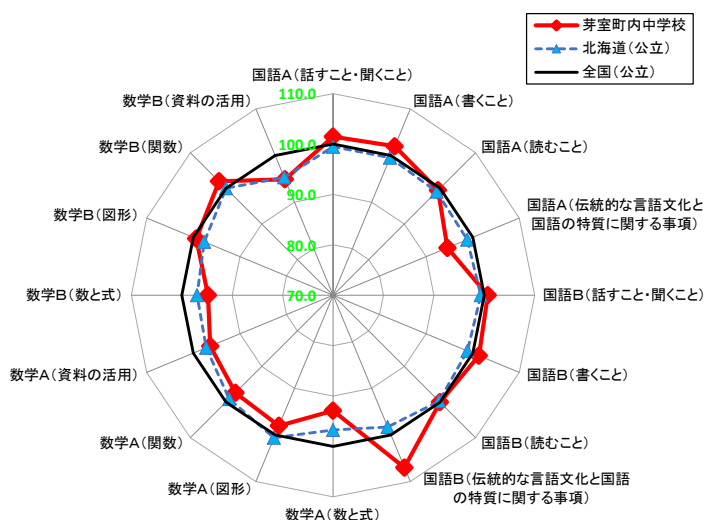
【芽室町の学力向上策】

- ◎ 少人数指導や習熟度別指導等の充実
- ◎ 学習課題の提示と終末を重視した授業の確立
- ◎ 教育活動助手や学校支援員の配置
- ◎ 授業と連動した家庭学習の推進
- ◎ 全国学力・学習状況調査等で明らかになった成果や課題を踏まえた授業改善
- ◎ 小学校低学年での読み書き支援の実施や小学校の中学年における1学級35人以下となる学級編制の取組

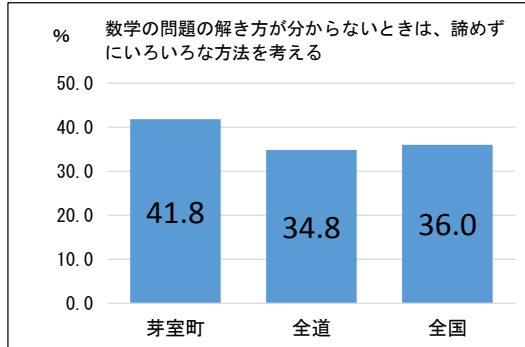
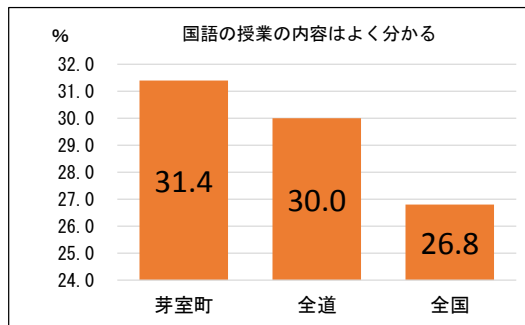
■ 芽室町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 3校、生徒数: 219人)

【教科全体の状況】

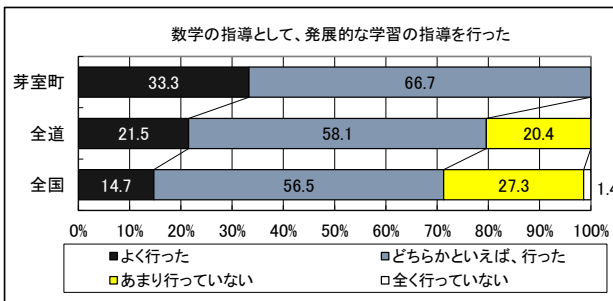
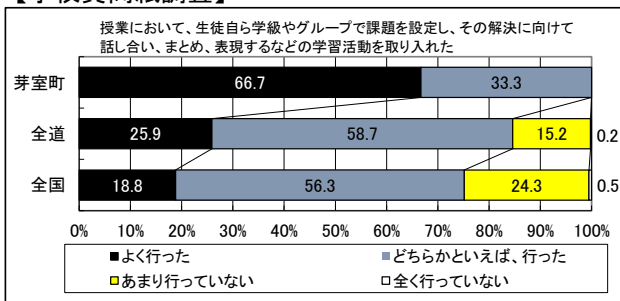
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Bでは、「関数」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた結果、国語の授業の内容はよく分かると回答した生徒が増え、国語Aの「話すこと・聞くこと」「書くこと」、Bの「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、数学の指導として、発展的な学習の指導をよく行った結果、数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えると回答した生徒が増え、数学Bの「関数」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の指導として、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【芽室町の学力向上策】

- ◎ 少人数指導や習熟度別指導等の充実
- ◎ 学習課題の提示と終末を重視した授業の確立
- ◎ 教育活動助手や学校支援員の配置
- ◎ 授業と連動した家庭学習の推進
- ◎ 全国学力・学習状況調査等で明らかになった成果や課題を踏まえた授業改善
- ◎ 小学校低学年での読み書き支援の実施や小学校の中学年における1学級35人以下となる学級編制の取組